

意見交換会の報告

(6月29日開催 8名参加)フューチャーセンターカマス

子育てママが考えるまちなかの遊び場 実現へのアイデア交換が始まりました

女川駅前周辺エリアは、町民みなさんがどなたでも気軽に使うことができる場です。しかし、「用事がないから行く機会が少ない」「町民向けの施設が分からず、行きづらい」といった声も聞かれます。



そこで、遊び場がほしい親子、カマスで遊び場を提供するNPO法人アスヘノキボウ、遊び方を提案したい女川スラックラインなどの関係者が集まり、町への想いや、まちなかを楽しく使いこなすために何ができるか、ざっくばらんに意見交換しました。

- 遊ぶもの(スラックレール、外遊びグッズなど)を置いてみよう
- 行けば必ず遊ぶことができるよう、毎週〇曜日は遊具のある日、と決めておくといいね

上記以外にも、多くのアイデアが出されました。次回以降も参加者が主役となって、町民の遊び場づくりを考えていきます。参加を希望する方は、お気軽にご連絡ください。



●暮らしの中で使ってほしい

カマス前の芝生広場は、どなたでも来て、楽しんでもらえる場所です。町内の幅広い世代の方に、公園のように利用してもらいたいと思っています。

トレーラーハウスも自由に使えるほか、7月から小さな図書館サービスも始めました。絵本、マンガ、ビジネス書もありますので、みなさん、気軽に遊びに来てください。

【フューチャーセンターカマス
運営団体 アスヘノキボウ】

アイデアのご紹介 個人宅でもできる

周囲の自然やまちなみと調和する緑のまちづくり

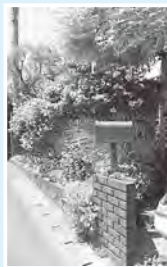
先月号でお伝えした「お庭見学会@名取&仙台」では、個人のお庭でできるまちなみづくりについて学びました。今回は、そこで実際に学んだ3つのポイントをご紹介します。みなさんのお庭づくりで、試してみませんか？

① ツル性植物を使ったおうち周りの緑化

ある程度成長すると、横に広がっていくツル性植物(クレマチス、アイビー、つるバラ等)を自宅の敷地周りに植えると、フェンスや塀が植物で覆われることにより、道路から見ても気持ちよい空間になります。



▲クレマチス
▶ツル性植物を活用したフェンス



② 歩道と一体感のある開放的な空間づくり

自宅の敷地周辺を緑化すると、道路や公園と一体感のある開放的な空間になります。



③ よう壁の圧迫感を減らす

よう壁部分は、レンガ調ブロックなどを使ってコンクリートむき出しを抑えると、圧迫感を軽減でき、見た目もよくなります。



● 緑化整備工事に助成金を交付しています

町では、宅地の緑化整備工事に助成金を交付しています。詳しくは「緑のまちづくり助成金」で検索、または役場復興推進課までご相談ください。



活動の告知など、まち活通信に掲載したい情報があれば、お気軽にご連絡ください！

◆発行・問合せ先 女川町まちづくり推進協議会事務局(役場復興推進課復興調整係)
☎54-3131内線291 メールアドレス: fukko7@town.onagawa.miyagi.jp
○まち活フェイスブック [まち活@おながわ](#) で検索